

「富士山『桧輝』」をPR

森林認証材委 間伐から加工まで視察



持続可能な森林経営
と製材、住宅施工過程
まで一体的な流通シス
テムを持つ木材の新ブ

ランド「富士山『桧輝
(ひのき)」。――

流通システムを組む
工務店などをつくる富
士山木造住宅協会・森
林認証材委員会は先ご
ろ、そうした流通経路
を確認し、ブランドの
特性を理解しようと現
地視察イベント「きこ
りツアー」を行った。
加盟工務店の代表や
関係者約30人が参加し、
地球環境への貢献を視
野に入れた木材の生産
から消費の流れに理解

を深めた。
同委員会メンバーは
県中東部の工務店10社
と製材業の富士ひのき
加工協同組合、住宅資
材販売のマルダイ。
「富士山『桧輝』」は、
林業団体などをつくる
「緑の循環」認証会議
(SGEC)の認証を
受けていて、同ブラン
ド木材を一定以上使用
した住宅を「森林認証
システムの家」と認め、
普及を目指している。
認証は、富士宮市北
山の日本製紙北山社有
林(670㍍)と同所
から切り出された富士

ヒノキの製材、プレカ
ット工程、住宅建設ま
で含めた流通・加工・
施工経路に与えられて
いる。
木材の生産と消費を
一体的に結ぶことで伐
採から使用、植林のサ
イクルを確立し、二酸
化炭素削減や治山など
環境に配慮した循環型
地域社会の構築に役立
てる狙いがある。

この日のツアーでは、
同社有林での伐採の様
子や富士ひのき加工協
同組合(富士市大淵)
での製材、マルダイ(同
)でのプレカット工程を
見学。「富士山『桧輝』
の消費促進と認知度向
上を図るため、学習机な
どの商品も生産・販売
することも紹介された。
同委員会事務局では
「木材を扱う業者とし
て治山や環境への貢献
に社会的な責任もある。
事業内容を発信し、多
くの人に理解を広めた
い」と話している。
同委員会加盟の工務
店などでは「きこりツ
アー」を計画している。
学習機の販売も合わせ、
問い合わせは同委員会
(☎353535・マル
ダイ内)。